



姉水会

発行所
滋賀県長浜市宮部町 2410
滋賀県立虎姫高等学校内

姉水会

〒529-0112
TEL 0749-73-3055(代)

印刷 株式会社サラト

100周年 記念事業を終えて

姉水会会長 大塚 敬一郎



あしかけ4年にわたる虎姫高校創立100周年記念事業が2023年3月をもって終了

いたしました。この間、皆様にはさまざまな面で多大なご支援、ご協力をいただいたことをここに篤く御礼申し上げます。

当初は2020年に記念式典・祝賀会をすべく、2017年に虎姫高校100周年実行委員会を立ち上げ、委員の皆さんと多方面から中身を検討しました。事業のテーマを『未来を担う人財』とし、虎高が国際バカロレアの認定校になったことを受け、

今後の日本のリーダーとなる人材にはグローバル化が欠かせないと考え、虎高生のための奨学金制度を創ることにいたしました。2019年には準備万端のもとで「姉水会奨学財団」を設立しました。ところが、

2020年11月の100周年記念式典・祝賀会に向けスタートを切った矢先、コロナというパンデミックが起こり全ての活動を一時休止せざるを得ない状況に陥りました。そんな中でしたが、2020年7月から「姉水会奨学財団」への募金活動を始め

した。老朽化して使用できなかった姉水会館の建て替えがやっと実現できた後でしたので、姉水会の所有建物である旧会館の取壊し費用と備品購入のための一般寄付も併せてお願いすることにいたしました。記念事業の総予算としては、姉水会奨学財団の基金寄付として5,000万円、一般寄付として1,000万円、合計6,000万円の寄付を同窓生の皆様をお願いすることになりました。

2023年6月末現在、姉水会奨学財団寄付は43,059,500円、一般寄付は8,468,866円となっております。いずれも目標には少し足りませんが、コロナ禍のなか、実行委員・学年委員の方々並びにご寄付いただいた皆様には大変お世話になりました。ここで改めてお礼申し上げます。寄付金の使途に関しては別途報告書の通りです。

なお、「姉水会奨学財団」に関しましては、今後も毎年500万円ずつの寄付をお願いしていく必要があります。

明治の政治家で関東大震災後に東京に昭和通りを造った後藤新平の言葉に、『財を残すは下、仕事を残すは中、人を残すは上』という名言があります。100周年記念事業は終了しましたが「姉水会奨学財団」の事業は、世界に羽ばたく虎高生を輩出すべくこれからも続けてまいりますので、皆様の温かいより一層のご支援をお願いする次第です。

ご挨拶

校長 兼房 一浩



姉水会会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。また、平素は本校教育の発展のために、多大なご支援やご協力を賜り誠にありがとうございます。

昨年度は、新型コロナウイルスの影響で延期となっておりました本校創立百周年の記念祝賀会も、百名を超える参加を得て無事盛大に開催されました。私も同窓の一人としてお祝い申し上げますとともに、多くの方々とともに記念すべき節目を祝うことができ感激の至りであります。

百周年にあたりましては様々な記念事業を企画していただきましたこと、心より感謝申し上げます。そのひとつとして実現していただきました姉水会館の建て替えにつきましては、姉水会館の解体工事も無事終えることができました。真新しいセミナーハウス「姉水館」は完成二年目の夏を迎え、今年度はコロナ禍も脱したとあって、部活動の合宿や文化祭行事、日々の学習会や研修会等、昨年にも増して本格的に活用しております。

また、皆様方からのご寄付により設立

いただきました「公益財団法人姉水会奨学財団」による奨学金については、昨年度より奨学生の募集を開始していただき、初年度は、国際バカロレア奨学金と修学奨学金をあわせて十四名の在校生に奨学金を給付していただきました。創立百年を機に、近隣他校にはない、未来へつながる「人材育成制度を創設いただきましたこと、重ねて厚く御礼申し上げますとともに、今後とも引き続きのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、昨年度は、西日本の公立高校の先陣を切つてスタートした国際バカロレアが完成年度を迎え、第一期生六名が本校を卒業し、それぞれの進路へと巣立つて行きました。導入に向けての調査研究を開始して十年、県内他校にはない新しい試みとあって様々模索しながらも、皆様方のご支援ご協力を得て、ひとつの大きな区切りを越えることができました。

また、スーパーサイエンスハイスクール事業による理数系の探究的な学習の取り組みは十二年目を迎えました。今年度からは、この取り組みを文系コースにも拡げて全校的な取り組みとし、文理の枠を越えた新しい学び(STEAM教育)や、地域社会の魅力化を目指す起業家精神の育成など、本

校ならではの教育プログラムに発展させていと考えております。

三年余に及ぶコロナ禍の中、教育活動にも様々な困難がありました。虎高生は学習面のみならず、学園祭や地域社会活動など様々な場面で主体的に取り組む風を先輩から後輩へとしっかりと引き継いできてくれているものと感じております。部活動でも多くの部が全国大会や近畿大会などの上位大会への出場を果たし、活気ある活動を続けています。

伝統ある「質実剛健」の校風のもと、「独立自尊」「方円自在」の精神を受け継ぎ、我が国の発展と国際社会の繁栄に貢献できる人づくりを目標として、時代の変化に即した新しい教育に挑戦し、生徒一人ひとりが、高い志を持って夢に挑戦できる魅力ある学校づくりに努めてまいりたいと考えております。

皆様方におかれましては、今後ともご支援ご鞭撻を賜りますことをお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。



令和5年度「姉水会」総会のご案内

お帰りなさい虎高へ

期日 令和5年10月29日(日)
日程 (姉水会理事会 12:00~13:00) 総会 13:00~13:30 懇親会 13:30~
場所 ホテル&リゾート長浜 (旧:長浜ロイヤルホテル) 長浜市大島町38 TEL 0749-64-2000
懇親会 場所:総会会場(ホテル&リゾート長浜) 会費:8,000円

令和5年度「姉水会」総会・懇親会参加申込フォーム

※ご参加いただける方は、10月20日(金)までに下記の姉水会事務局へご連絡ください。
総会あるいは懇親会のみ参加でも結構です。
右のQRコードからの申し込みも可能です。



姉水会事務局 TEL 0749-73-3055 (虎姫高校) FAX 0749-73-2967 (虎姫高校)
メールアドレス torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp
※FAX・メールの場合は確認用連絡先を明記してください。

創立百周年記念事業について

令和2～5年度 滋賀県立虎姫高等学校百周年記念事業会計決算報告書 (財団法人および姉水会にかかる経費を除く)

【収入の部】

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (B-A)	備 考
寄 附 金	5,000,000	8,367,516	3,367,516	寄 附 額 8,468,866円 振込手数料 -101,350円 *財団法人への寄附金は別途会計
姉水会より繰入	6,000,000	6,000,000	0	
祝賀会会費	800,000	1,100,000	300,000	@10,000円×110名
雑 収 入	1,000	0	△ 1,000	
計	11,801,000	15,467,516	3,666,516	

【支出の部】

(単位:円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (B-A)	備 考
寄附物品購入費	2,750,000	3,475,370	725,370	教室用電子黒板スタンド・プロジェクター2台 セミナーハウス備品整備 (机・椅子・プロジェクター・厨房・音響等)
記念誌印刷費	1,100,000	2,221,000	1,121,000	記念誌印刷代、表紙筆耕料
記念誌通信運搬費	300,000	33,116	△ 266,884	原稿依頼切手代、記念誌発送レターパック代 (財団寄附金への記念誌発送は財団会計で負担)
記 念 式 典	600,000	428,415	△ 171,585	案内状送付用切手・はがき、式典看板代 ドローン・プロジェクターレンタル料等
記 念 品	100,000	0	△ 100,000	
祝 賀 会	800,000	1,125,384	325,384	ホテル会場代・食事代、ピアノ・カメラマン謝礼 開催通知・出席者返信はがき等郵便代
募 金	3,500,000	1,933,081	△1,566,919	募金趣意書・振込用紙印刷発送代 (1回分)
会 議 費	100,000	0	△ 100,000	
事 務 費	1,000,000	93,185	△ 906,815	事務用品購入、郵便代等
人 件 費	500,000	0	△ 500,000	
予 備 費	1,051,000	6,000,000	4,949,000	姉水会館解体費
計	11,801,000	15,309,551	3,508,551	

差引残高 157,965円は、姉水会会計へ

「創立百周年記念事業」の口座へ8,468,866円のご寄附をいただきました。このご寄附により、セミナーハウス「姉水会館」の建て替えに伴う解体工事や新しい厨房と研修室の備品整備、百周年記念誌の発行、奨学財団の立ち上げ、記念式典と祝賀会の開催費用等を賄うことができ、当初予定しておりました記念事業をすべて無事に完了することができました。皆様方のご協力に感謝申し上げますとともに、4年間にわたりました百周年記念事業の決算を下記の通りご報告申し上げます。

なお、当事業により設立しました「公益財団法人 姉水会奨学財団」の口座へは、これまでに43,059,500円(6月末現在)のご寄附をいただいております。奨学金事業は今後も未永く続けてまいりますので、今後とも引き続き募金へのご協力を賜りますようお願いいたします。

令和5年度 姉水会役員 (敬称略)

役 職	氏 名	卒 回
会 長	大塚敬一郎	高17
副 会 長	橋本 圭祐	高17
	関谷 松男	高20
	沢田 昌宏	高28
	中西 恭子	高30
	宮島 正典	高37
顧 問	高田 毅士	高25
	木下 善正	高14
	野田 藤雄	高16
	三和 伸彦	高34
	根尾 昇	高28
	兼房 一浩	高35
	監 事	本城 善男
理 事	鈴木富美代	高28
	瀬邊 勸	高2
	村田 洋	高14
	大橋香代子	高18
	速水 敏行	高18

役 職	氏 名	卒 回
理 事	清水 実	高20
	中川 勇	高22
	北田 康隆	高23
	坂井 久泰	高26
	河崎 仁美	高30
	清水 金幸	高31
	原田 健司	高34
	押谷喜美子	高34
	吉田 佳司	高35
	廣部宇一郎	高36
	速水 一生	高39
	遠藤 健	高39
	松居 慶浩	高41
	馬場 鋭州	高42
	村田 寿郎	高43
	川田 昌史	高48
	松宮 誠也	高50

令和5年度 姉水会校内役員

役 職	氏 名	卒 回	
教 頭	富岡 正臣	高45	
事 務 長	疋田 壽宏		
総 務 (同窓会担当)	○菅原 信章	高38	
	○塚田 豊	高38	
	○細井 剛	高36	
	梅本 美保	高37	
	高橋 英樹	高56	
	(会 計)	宮田 崇弘	高60
	(会 計)	上杉 真代	高62
		徳原 真也	高63
		五十嵐 聡	高64
	会 員 名 簿	○宮部 睦美	高49
	松村 大介	高59	
	山根 孝子	高46	
会 報	○岩崎 俊裕	高34	
	○南部 康弘	高37	
	笹原 敏幸	高33	
	川瀬 千津	高43	
	(記 念 誌)	吉田 晴洋	高36
	(記 念 誌)	杉本 智子	高46
	(記 念 誌)	川村 洋輔	高58

同窓会だより『日東第一だより』の 原稿募集 について

多くの学年で、旧交を温めあうべく同窓会を開催されていることと思います。その様子を本紙の『日東第一だより』にてご紹介ください。ご紹介いただける場合は、姉水会事務局まで原稿(できれば写真1~2枚も)をお寄せください。よろしく願いたします。

※姉水会事務局

TEL 0749-73-3055 (虎姫高校)
FAX 0749-73-2967 (虎姫高校)
e-mail : torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp



○滋賀県立虎姫高等学校HP

<http://www.torahime-h.shiga-ec.ed.jp/>

○『虎姫高等学校創立百周年記念事業』
(姉水会奨学財団)に関するHP

<https://100th.torahime-shisukai.org/>



令和4年度「姉水会総会」報告



令和4年度姉水会総会は、昨年11月12日(土)に、創立百周年記念祝賀会に先立ち、午後1時30分より「ホテル&リゾート長浜」(旧長浜ロイヤルホテル)において開催されました。

総会は、お亡くなりになった会員の方々への黙祷に始まり、大塚敬一郎会長(高17)、虎姫高校兼房一浩校長(高35)にご挨拶いただきました。続いて役員の方々の紹介が行われたあと、議長に中西恭子姉水会副会長(高30)が選出され、協議事項一号議案「令和3・4年度事業報告」および二号議案「令和3年度決算報告・監査報告」が審議され、満場の拍手で承認されました。

議事に続いて、10年勤続の教員3名が紹介され、代表として保健体育科、澤村祥太教諭に、大塚会長から感謝状が授与されました。

創立百周年記念祝賀会

創立百周年記念式典が、予定より1年遅れて、令和3年11月7日(日)に虎姫高校体育館において挙行されましたが、さらに1年延期となっていた記念祝賀会が、令和4年11月12日(土)に「ホテル&リゾート長浜」において開催されました。

祝賀会は、速水一生姉水会理事(高39)の司会進行により、大塚敬一郎姉水会会長(高17)のご挨拶に始まり、続いて高田毅士東京姉水会会長(高25)・根尾昇大阪姉水会会長(高28)にご挨拶をいただきました。その後、ご来賓の三日月大造滋賀県知事・浅見宣義長浜市長(高30)・上野賢一郎衆議院議員(高36)から、ご祝辞をいただきました。

続いて、岸田孝史県庁姉水会会長(高33)の乾杯の音頭により、宴が始まりました。

続くアトラクションでは、押谷洋子氏(高30)・横田麻友子氏(高58)・横田亜香里氏(高65)・石田美智代氏の4名の方々が歌や演奏を披露され、会場は大盛況となりました。

その後、式典用



プロジェクトシンマッピング・式典用虎高ツアー・ピンクマスクデー取材(関テレ)・学校紹介動画がビデオ上映されるなか、校友の方々の歓談が盛り上がり、続いて世代ごとに登壇し、代表の方に一言ずつスピーチをしていただきました。

宴もたけなわのころ、母校虎姫高校の校歌「日東第一」の斉唱が、ピアノ伴奏のもと始まりました。参加者全員で一つの大きな輪を作って歌唱し、姉水会の団結を感じることができました。

最後は、野田藤雄長浜姉水会会長(高16)による閉会のご挨拶で、母校虎姫高校創立百周年祝賀会の幕は閉じられました。新型コロナウイルスの影響をうけるな

か、今回の祝賀会には110名を超える方々に出席いただきました。ご参加の皆様、ありがとうございました。次の百周年に向けて、母校の更なる発展を願うところで。

令和4年度 姉水会決算(案)

自 令和4年4月1日
至 令和5年3月31日

[1] 一般会計	収入の部	項目	金額	備考
		前年度繰越金	2,304,902	(定期：1,405,220円、普通：899,682円)
	入会金	788,000	高75回生 4,000円×197名	
	同窓会名簿売上	4,000	4,000円×1冊	
	雑収入	10,033	姉水館古物売上、利息(定期24円・普通9円)	
	合計	3,106,935		
[2] 特別会計	収入の部	項目	金額	備考
		前年度繰越金	8,823,925	
	一般会計より繰入	591,000	高75回生入会金より(3,000円×197人)	
	雑収入	74	利息(定期18円・普通56円)	
	合計	9,414,999		
[1] 一般会計	支出の部	項目	金額	備考
		通信費	29,820	郵送料
	謝金・謝礼	42,320	10年勤続表彰謝金(3名分)・証書ファイル代	
	会議費	30,000	理事会会場代	
	皆勤賞記念品代	97,570	75回卒業生皆勤賞	
	姉水会館施設設備費	9,350	ガス代	
	姉水会館害虫駆除	2,750	ダニ調査	
	姉水会館取壊し費	116,380	電話線・電灯撤去、配線切り離し作業	
	「特別会計」へ繰入	591,000	高75回生入会金より(3,000円×197人)	
	合計	919,190		
次年度繰越金			2,187,745	
[2] 特別会計	収入の部	項目	金額	備考
		前年度繰越金	8,823,925	
	一般会計より繰入	591,000	高75回生入会金より(3,000円×197人)	
	雑収入	74	利息(定期18円・普通56円)	
	合計	9,414,999		
[1] 一般会計	支出の部	項目	金額	備考
			0	
	合計	0		
次年度繰越金			9,414,999	

姉水会奨学財団奨学金 初年度給付のご報告

奨学財団設立後初年度となる令和4年度の奨学金について、国際バカロレア奨学金6名、修学奨学金8名、あわせて14名の虎高生に、一人20万円の奨学金を給付しました。

このうち国際バカロレア奨学金については、12月21日に虎姫高校において奨学金授与式を開催し、選考委員から6名の生徒に決定通知書を授与しました。現在この6名は、国際バカロレアの1期生として虎姫高校を卒業し、4月からそれぞれの進学先で学業に励んでいます。未来を担う“人財”として活躍してくれることを期待しています。

創立百周年記念事業の一環として設立した『公益財団法人姉水会奨学財団』は皆様のご寄付により奨学金事業を行っています。今後も継続的に奨学金を支給していくため、引き続き、当財団の募金にご協力をお願い致します。



国際的な視野を持ち世界で活躍できる人材を育成するために導入された「国際バカロレア」の第1期生となる6名の虎高生が卒業しました。少人数での探究的な学びや英語によるコミュニケーションなど、世界に通用する魅力的な教育プログラムである一方、西日本の公立高校では初の導入(現在でも公立高校は全国で10校)とあって、当初は、日本の大学入試への対応など、新しい学びに対する不安の声も聞かれました。しかし、国際バカロレアにチャレンジした生徒達は大きく成長し、大学進学でも見事に実績を上げ、こうした不安を払拭してくれました。今後は、海外大学への進学も含めてさらに選択生徒が増えると期待されます。後に続く虎高生の活躍を祈ります。

※国際バカロレア1期生の大学進学状況

大阪公立大学現代システム科学域(2名)、岡山大学工学部(1名)、上智大学理工学部(1名)、国際基督教大学国際教養学部(1名)、京都産業大学外国語学部(1名)

国際バカロレア
第1期生が卒業

IB・SSH

IB 1期生たちが「IBコア・デー」を開催

本校の国際バカロレア（以下、IB）ディプロマ・プログラム（以下DP）は、75回生の入学した2020年より西日本の公立高校として初めて開始されました。その集大成として、去る1月30日（月）、卒業を控えた6人のIB 1期生が自ら「IBコア・デー」を企画・準備して開催しました。このイベントは3部構成で、まずIBの特徴である3つのコアと呼ばれる「知の理論」（TOK）「課題論文」（EE）「自主活動」（CAS）の取り組みについて発表があり、次に「知の理論」の授業をIB 2、3期生および一般参加者約90名に体験してもらいました。授業は、少人数のグループに別れ、活発なディスカッションに加えて発表もあり大変盛り上がりました。最後は、1期生6人のトークショーで、IBDPの経験や自分たちの夢について語ったり、培った英語力を披露したりしました。参加者からのアンケートには「自分たちの学んだことや体験したことを自分の言葉で堂々と話す姿に、IBのめざすグローバルな人材像を見た気がしました」など好評でした。IB 1期生として最後までしっかり学びに取り組み、高校生活の締めくくりとしてふさわしい一日となりました。



掲示されたCASのポスター



パワポを用いた発表の様子



議論が活発だった体験授業

SSH 3期目の申請に向けて

虎姫高校のSSH事業は2期を終え、現在経過措置2年目です。これまで「究理」などの探究的な授業や高大連携講座、SSH講演会などの取組を通して、生徒の探究力・表現力・協働力、そして主体的な態度・科学的な態度を育ててきました。今後は、この3つの力と2つの態度を活かす場を生徒や地域の方々と共に創っていくを考えています。3期目の申請に向けて、自ら課題を見つけ、学び、探究した成果を地域社会に普及・発信していく場を企画しています。



三角点

(上位成績のみ)

令和4年度 秋季大会結果

女子 団体 第3位

男子 シングルス 東野勇士 ベスト16 近畿大会出場

ダブルス 東野勇士・中川結斗組 ベスト16

女子 ダブルス 畑澤泉綺・谷木壘威組 ベスト16

ベスト8 近畿大会出場

ソフトテニス 佐野元美・前田明華音 ベスト16

男子 団体 ベスト8

女子 団体 3位

個人 島田侑依・保科真琴ペア 2位 近畿大会出場

新道母子・林 紗羽ペア ベスト16 近畿大会出場

陸上

男子 走幅跳 安済司瑋 8位

女子 走幅跳 河崎杏実 6位

800m 岸田紗季 5位 大谷心優 7位

1500m 岸田紗季 4位

囲碁・将棋

男子 団体戦 3位

個人戦 7位 中川結斗 近畿高文祭出場

将棋部門

男子 団体戦II部 優勝

個人戦I部 ベスト8 中嶋伊吹、藤井壮城

ESS

滋賀県高校生英語ディベート大会 4位入賞

長良川杯（即興ディベート大会） 6位入賞



科学探究

口頭発表の部 滋賀県科学教育研究会会長賞

ポスター発表の部 優秀賞

新聞部

滋賀県学校新聞コンテスト 優秀賞 教育長賞

R4全国総文 全国総文出場決定

最優秀賞（4年連続）

令和5年度 春季大会結果

女子 団体 第3位 近畿大会出場

男子 団体 第3位 近畿大会出場

女子 ダブルス 畑澤泉綺・谷木壘威組

ベスト8 近畿大会出場

ソフトテニス 佐野元美・前田明華音組

ベスト16 近畿大会出場

男子 ダブルス 畑澤泉綺・谷木壘威組

ベスト8 近畿大会出場

女子 ダブルス 佐野元美・前田明華音組

ベスト16 近畿大会出場

ソフトテニス

女子 団体 第3位 近畿大会出場

個人 島田侑依・保科真琴ペア

ベスト12 近畿大会出場

新道母子・林 紗羽ペア

ベスト12 近畿大会出場

陸上

男子 走幅跳 安済司瑋 4位 近畿大会出場

女子 走幅跳 岸田紗季 8位

800m 岸田紗季 8位

1500m 岸田紗季 8位

囲碁将棋

男子 個人 中川7位

団体戦 準優勝

将棋

男子 団体 準優勝

個人 A級

中嶋5位

藤井8位



進路状況

● 現役合格延人数

種別	令和3年3月卒	令和4年3月卒	令和5年3月卒	
卒業者数	230	190	197	
大学	国公立大学	81	73	92
	私立大学	584	694	625
	計	665	767	717
短大	公立短大	0	2	0
	私立短大	4	0	2
専修学校等	17	15	7	
就職	公務員等	0	0	0

● 主な大学の合格状況

【国公立大学】合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	令和3.3卒	令和4.3卒	令和5.3卒
北海道大	0 (0)	1 (1)	1 (1)
筑波大	1 (0)	1 (0)	1 (0)
宇都宮大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
千葉大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
富山大	3 (0)	4 (0)	2 (0)
金沢大	1 (0)	1 (0)	5 (0)
福井大	2 (0)	5 (0)	5 (0)
信州大	1 (0)	1 (0)	0 (0)
岐阜大	4 (0)	2 (0)	5 (1)
静岡大	2 (0)	5 (0)	2 (0)
名古屋大	1 (0)	1 (0)	0 (0)
名古屋工大	1 (0)	1 (0)	2 (0)
三重大	1 (0)	1 (1)	0 (0)
滋賀大	12 (0)	9 (1)	9 (0)
滋賀医大	3 (0)	1 (0)	5 (0)
京都大	1 (0)	1 (1)	0 (0)

大学名	令和3.3卒	令和4.3卒	令和5.3卒
京都教育大	0 (0)	0 (0)	2 (0)
京都工芸繊維大	1 (0)	1 (0)	0 (0)
大阪大	2 (1)	0 (0)	3 (1)
神戸大	0 (0)	0 (0)	1 (1)
奈良教育大	0 (0)	0 (0)	1 (0)
奈良女子大	2 (0)	0 (0)	0 (0)
和歌山大	1 (0)	0 (0)	0 (0)
鳥取大	1 (0)	0 (0)	0 (0)
島根大	0 (0)	2 (0)	0 (0)
岡山大	0 (0)	1 (1)	5 (0)
広島大	3 (0)	1 (1)	2 (0)
山口大	2 (0)	2 (0)	3 (0)
徳島大	1 (0)	0 (0)	1 (0)
高知大	2 (0)	0 (0)	0 (0)
九州大	1 (0)	0 (0)	0 (0)
大分大	1 (1)	1 (0)	0 (0)

大学名	令和3.3卒	令和4.3卒	令和5.3卒
宮崎大	1 (0)	0 (0)	1 (0)
琉球大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
国立大学計	52 (2)	52 (8)	59 (4)
福井県立大	0 (0)	3 (0)	3 (0)
敦賀市立看護大	4 (0)	4 (0)	4 (0)
滋賀県立大	15 (0)	12 (0)	13 (0)
京都府立大	0 (0)	1 (0)	0 (0)
大阪公立大	0 (0)	1 (0)	3 (0)
兵庫県立大	1 (0)	2 (1)	2 (0)
公立大計	32 (1)	32 (3)	38 (1)
国公立大計	84 (3)	84 (11)	97 (5)

再掲 国公立医療系			
医学科	1 (1)	0 (0)	1 (0)
薬学科	1 (1)	0 (0)	0 (0)
看護系	9 (0)	9 (0)	10 (0)
医療技術系	1 (0)	2 (0)	1 (0)

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

【私立大学】合格延人数 ()内は過年度卒

大学名	令和3.3卒	令和4.3卒	令和5.3卒
立教大	0 (0)	1 (0)	5 (0)
明治大	1 (0)	0 (0)	0 (0)
早稲田大	1 (0)	2 (0)	1 (0)
南山大	5 (0)	0 (0)	3 (0)
名城大	2 (0)	8 (2)	3 (0)
京都産大	18 (0)	54 (1)	15 (0)

大学名	令和3.3卒	令和4.3卒	令和5.3卒
京都女子大	11 (0)	17 (0)	9 (0)
京都薬科大	2 (0)	0 (0)	0 (0)
同志社大	19 (1)	11 (5)	16 (3)
立命館大	65 (4)	70 (3)	72 (5)
龍谷大	97 (1)	177 (2)	158 (3)
関西大	6 (1)	2 (1)	14 (0)

大学名	令和3.3卒	令和4.3卒	令和5.3卒
近畿大	31 (1)	34 (6)	43 (0)
関西学院大	7 (0)	11 (1)	7 (0)
私立大計	606 (24)	727 (34)	640 (15)
私立大医学科	0 (0)	0 (0)	2 (2)

※ 紙面の都合上、全ての大学は掲載していません。

第75回生 (令和5年3月卒) 進学希望者数に対する合格率・進学率

	人数	合格率・進学率	
進学希望者数	A 197		
合格者数	B 196	合格率	B/A 99%
進学者数	C 188	進学率	C/A 95%
国公立大合格数	D 92	国公立大合格率	D/A 47%



十年勤続

・ 矢田 志奈 先生
・ 富岡真理子 先生

今年度永年勤続表彰

母校に永年ご勤続いただき、後輩の教育にご尽力されている先生の労に対し、会長より感謝状と記念品が贈呈されます。

職	氏名	所属
退職	寛 聡	(国語) 虎姫高校非常勤講師
教諭	西脇 誠	(理科) 虎姫高校非常勤講師
臨時講師	サミュエル・ソレンソン	虎姫高校非常勤講師 (英語)
派遣講師	ジャマル・アルハビル	(英語) アルジェイ・デューク (英語)
ALT	山崎 毅	(事務室) 虎姫高校会計年度任用職員
業務員	白杵 朋美	(国語) 野洲高等学校
教諭	澤村 祥太	(保健体育) 伊香高等学校
教諭	瀬戸川信江	(英語) 長浜北高等学校
教諭	川崎美佐子	(事務室) 滋賀県庁業務課
事務長	富岡真理子	(英語) 虎姫高等学校
転入	花房 聡	(国語) 彦根翔西館高等学校
教諭	大友 陸人	(保健体育) 新規採用
教諭	森本 広美	(英語) 長浜北高等学校
講師	ポップ・ベンジャミン	(英語) 虎姫高等学校
臨時講師	笹原 敏幸	(数学) 長浜北高等学校
派遣講師	レモン・シヤノン	(英語) レネエダグラス・デピットン (英語)
ALT	疋田 壽宏	(事務室) 防災危機管理局
事務長	中川 久男	(事務室) 県立河瀬中学校
副主幹		

令和5年度
職員人事異動 (敬称略)



姉水会奨学財団への募金のお願い

※創立百周年記念事業の一環として設立いたしました『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金を、**同封の振込用紙にて**よろしくお願いたします。

※従来、会報「姉水」にあわせてお願いしていましたが『運営協力金（1口2,000円）』は、『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金に移行させていただきます。

■募資金額

個人：『公益財団法人姉水会奨学財団』への募金は、**多くの方にご賛同いただくことを目標としております。金額の多寡にかかわらずご協力をお願い申し上げます。**

法人：1口の金額は特に定めておりません。

■税制上の優遇措置について

『公益財団法人姉水会奨学財団』へのご寄附は、**寄附金控除等の対象**となります。

《個人による寄附の場合》

個人が寄附をした場合、確定申告を行なうことで、①寄附金控除（所得控除）又は、②寄附金特別控除（税額控除）のいずれか有利な方を選ぶことができ、**所得税が減額されます。**（概ね②が有利ですが、各人の所得などによって①が有利になる場合があります）

例）5万円を寄附した場合（②税額控除方式）

$$\text{所得税の減税額} = (50,000\text{円} - 2,000\text{円}) \times 40\% = 19,200\text{円}$$

※実質約30,000円で50,000円の寄附効果があります。

《法人による寄附の場合》

法人による寄附の場合、特定公益増進法人に対する寄附に分類され、**その他一般の寄附金とは別枠で「損金の額」に算入することができます。**

※いずれの場合も、税務申告の際に**公益財団法人発行の領収書**が必要です。

■**税制上の優遇措置をご利用予定の場合**は、同封の振込用紙「通信欄」の『領収書必要』に必ず「○」印をお願いします。振込確認後、「通信欄の訂正届欄」（空白の場合は「ご依頼人欄」）記載の住所氏名宛に領収書を郵送いたします。「○」印がない場合は、受領証をもって領収書に代えさせていただきます。

■**他行から振込の場合**【同封の振込用紙はゆうちょ銀行専用です。ご注意ください】

ゆうちょ銀行、店名：〇九九《せみづかみづか》、預金種別：当座

口座番号：0238673

口座名義：公益財団法人姉水会奨学財団《ザイ）シスイヨウガクァイダン》

※他行から振込をしていただいた場合は下記連絡先まで、

卒業回（卒業年）、お名前、領収書の要・不要（要の場合は送付先住所）等をお知らせください。

《連絡先》 財団・募金に関するお問い合わせは 090-9831-7950（担当 松宮）

同窓会に関するお問い合わせは姉水会事務局にお願いします。

TEL：0749-73-3055（滋賀県立虎姫高等学校）

e-mail：torahime-h.sisui@pref-shiga.ed.jp